



令和8年1月23日（金）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
航空宇宙産業課 企画連携係	伊藤 河村	内線3765 直通058-272-8837 FAX 058-278-2653
各務原市 観光交流課観光振興係	野田 林	直通058-383-9926 FAX 058-389-0765
岐阜かかみがはら航空宇宙博物館指定管理者 （公財）岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	阪野	直通058-386-8500 FAX 058-386-9912

## 第9回全国人工衛星・探査機模型製作コンテスト 最終審査・表彰式を開催します

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（愛称「空宙博」<sup>そらはく</sup>）では、高校生・高専生に宇宙開発やモノづくりの魅力に触れてもらうため、平成28年から全国人工衛星・探査機模型製作コンテストを開催しています。

今年度は、全国から15作品応募があり、このたび1次審査を通過した7作品について、有識者による最終審査、表彰式を開催しますのでお知らせします。

なお、最優秀賞作品は、空宙博宇宙エリアに1年間展示します。

### 記

1 開催日時 令和8年2月1日（日）最終審査 13:00～14:50  
表彰式 15:00～15:20

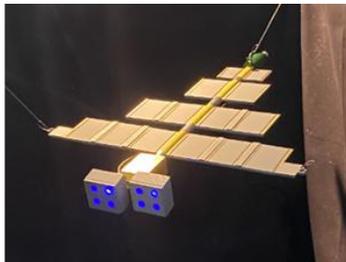
2 次第（予定） （1）最終審査  
① 作品プレゼンテーション（1作品5分程度）  
② 作品審査  
  
（2）表彰式  
① 作品講評  
② 結果発表  
③ 表彰

※最終審査及び表彰式は来館者もご覧いただけます。

3 場 所 空宙博1階 シアタールーム（各務原市下切町5丁目1番地）  
※作品審査は2階 宇宙エリア（作品展会場）で実施

## 4 作品

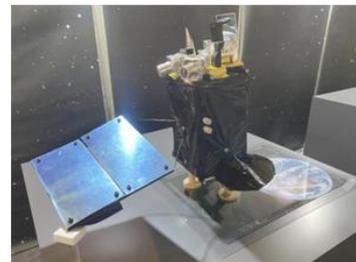
学校名	作品名	(参考)題材の探査機等 (カッコ内は打上げ年、開発者)
青森県立三沢 高等学校 (Project JIMO)	木星氷衛星周回機 「JIMO」	木星衛星「エウロパ」を主目標とした探査機。H18年までに開発が中止された (NASA)
サレジオ工業 高等専門学校	Perseverance Rover and Ingenuity	火星のクレーター探査を目的とした探査車及び小型ロボットヘリコプター (R2、NASA)
さいたま市立 大宮国際中等 教育学校 (ギタリンフレンズ)	気象衛星 ひまわり9号	H29年から運用されている気象観測用の人工衛星 (H28、気象庁)
岡山理科大学 附属高等学校	New Horizons	人類初の冥王星を含む太陽系外縁天体探査を行うための無人探査機 (H18、NASA)
岐阜県立岐南 工業高等学校 (電気研究会)	Gateway 1/70	米国提案の国際宇宙探査計画「アルテミス計画」で計画されている月周回軌道上の有人拠点 (NASA 等)
三重県立松阪 工業高等学校 A	パーサヴィアランス	火星のクレーター探査を目的とした探査車 (R2、NASA)
三重県立松阪 工業高等学校 B	GPM 主衛星	全球降水観測*計画 (GPM 計画) の軸になる人工衛星 (H26、JAXA・NASA 等) ※地球全体にわたって高頻度・高精度の雨観測をすること



三沢高校



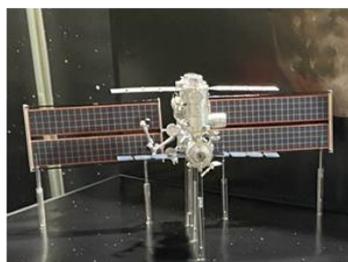
サレジオ高専



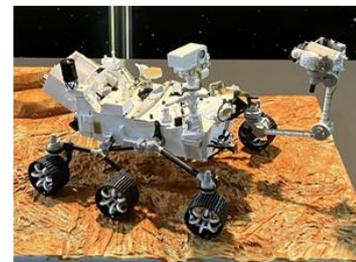
大宮国際中等教育学校



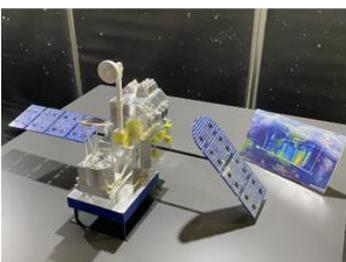
岡山理科大学附属高校



岐南工業高校



松阪工業高校 A



松阪工業高校 B

## 5 審査員（敬称略、五十音順）

氏名	役職
あきやま ひろあき 秋山 演亮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立大学法人和歌山大学 学長補佐/共同利用共同研究推進室長 教授</li> <li>・学校法人千葉工業大学 惑星探査研究センター 客員主席研究員</li> <li>・公益財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 特別アドバイザー</li> <li>・GIFUスペースビジネス協議会 アドバイザー</li> </ul>
ささき かおり 佐々木 薫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA） 広報部長</li> <li>・公益財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 評議員</li> </ul>
ささき みのる 佐々木 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 地域協学センター 特任教授</li> <li>・公益財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 理事</li> </ul>
つつい まこと 筒井 賢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー 防衛宇宙ディビジョン 防衛宇宙システム総括部 宇宙システム設計部長</li> <li>・GIFUスペースビジネス協議会 副会長</li> </ul>
わかまつ ひろまさ 若松 宏昌	一般財団法人 日本宇宙フォーラム 常務理事

## 6 審査基準

項目	配点	審査内容
クオリティ	50点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機体の形状（パーツの大きさや比率、構造）は正確性が高いか。</li> <li>・塗装や加工は丁寧にされているか。</li> <li>・1年間展示ができる強度のある作りになっているか。</li> </ul>
創意工夫	30点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の展示物として、模型の姿や背景の演出などから、リアルかつ機体の特徴がわかりやすく伝わる作品になっているか。</li> </ul>
技術力	20点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作に当たり、適した技術を有しているか。</li> <li>・リアリティや強度を高めるため、高度な技術を駆使した点が認められるか。</li> </ul>

### 〔参考〕コンテスト概要

- 1 募集作品 通信や気象観測用等の人工衛星、惑星や彗星等の探査機（題材の選定は自由）
- 2 応募資格 高校生及び高等専門学校1～3年生の個人又はグループ（学校、クラブ等）
- 3 スケジュール
 

募集期間	令和7年4月30日（水）～6月20日（金）
1次審査	令和7年7月23日（水）
作品展	令和7年12月6日（土）～令和8年2月1日（日）
最終審査・表彰式	令和8年2月1日（日）
- 4 表彰
 

最優秀賞・優秀賞	賞状、賞金5万円、記念品
佳作	賞状、賞金5万円